

注3

**大学番号：私469**

[平成22年度設置]

**届出**

計画の区分：学部の学科の設置

注1

神戸芸術工科大学	先端芸術学部	まんが表現学科
神戸芸術工科大学	先端芸術学部	映像表現学科
神戸芸術工科大学	先端芸術学部	クラフト・美術学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 谷岡学園  
平成23年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	教学課
職名・氏名	課長 <small>ヒラ</small> 平 <small>ハヤシ</small> 林 <small>ミキ</small> 幹 <small>オ</small> 生
電話番号	078-794-5025
（夜間）	078-794-5025
F A X	078-794-5027
e-mail	academic-b@kobe-du.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」  
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

- 1 調査対象大学等の概要等
- 2 授業科目の概要
- 3 施設・設備の整備状況、経費
- 4 既設大学等の状況
- 6 留意事項に対する履行状況等
- 7 その他全般的事項

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 谷岡学園

## (2) 大学名

神戸芸術工科大学

## (3) 大学の位置

〒651-2196

兵庫県神戸市西区学園西町8丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(タニカ 伊助) 谷岡 一郎 (平成17年4月)		
学長	(サイキ 勉) 齊木 崇人 (平成20年4月)		
学部長	(フジモト シュウゾウ) 藤本 修三 (平成20年4月)		
学科主任		(ハシモト エイジ) 橋本 英治 (平成22年4月)	平成22年4月1日より、先端芸術学部 まんが表現学科及び映像表現学科主任に就任(22)
学科主任		(イノエ 元和) <del>(イノエ 元和)</del> 市野 元和 笹谷 晃生 (平成 <sup>23</sup> 22年4月)	平成22年4月1日より、先端芸術学部 クラフト・美術学科主任に就任(22) 人事異動に伴い平成23年4月1日より先端芸術学部 クラフト・美術学科主任に就任(23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
先端芸術学部 まんが表現学科 学士(芸術工学)	4年	45人	年次 人 -	180人	
映像表現学科 学士(芸術工学)	4	45	-	180	
クラフト・美術学科 学士(芸術工学)	4	45	-	180	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

先端芸術学部 まんが表現学科

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	45 ( - ) [ 若干名 ]	- ( - ) [ ]	45 (若干名) [ 2 ]	- ( - ) [ ]	1.22倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	134 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	134 (若干名) [ 8 ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	133 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	133 (若干名) [ 8 ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	67 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	63 (若干名) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	54 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	56 (若干名) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A					1.20		1.24			

先端芸術学部 映像表現学科

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	45 ( - ) [ 若干名 ]	- ( - ) [ ]	45 (若干名) [ 2 ]	- ( - ) [ ]	1.22倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	183 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	115 (1) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	182 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	115 (1) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	81 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	69 (1) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	58 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	53 (1) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A					1.28		1.17			

先端芸術学部 クラフト・美術学科

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 40 ( - ) [ 若干名 ]	人 - ( - ) [ ]	人 40 (若干名) [ 2 ]	人 - ( - ) [ ]	0.87倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	65 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ ]	57 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	64 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ ]	55 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	44 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ ]	43 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	38 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ ]	32 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ ]		
入学定員超過率 B/A					0.95		0.8			

- (注) ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

先端芸術学部 まんが表現学科

学年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ 3 ] 50	[ - ] -	[ 3 ] 55	[ ] [ ]	平成22年度 2年次 転科 1名 (ビジュアルより)  平成23年度1年次 大震災の 影響で休学し、留学ビザ未 取得 1名
2年次	//		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 1	[ - ] -	[ ] [ ]	[ ] [ ]	
3年次	//		//		[ - ] -	[ - ] -	[ ] [ ]	[ ] [ ]	
4年次	//		//		//		[ ] [ ]	[ ] [ ]	
計	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ 3 ] 51	[ - ] -	[ 3 ] 55	[ ] [ ]	

先端芸術学部 映像表現学科

学年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ 2 ] 53	[ - ] -	[ 1 ] 53	[ - ] -	平成22年度 2年次 編入 1名
2年次	//		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 1	[ - ] -	[ ] [ ]	[ - ] -	
3年次	//		//		[ - ] -	[ - ] -	[ ] [ ]	[ - ] -	
4年次	//		//		//		[ ] [ ]	[ - ] -	
計	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ 2 ] 54	[ - ] -	[ 1 ] 53	[ ] [ ]	

先端芸術学部 クラフト・美術学科

学年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ 2 ] 37	[ - ] -	[ - ] 32	[ - ] -	平成22年度 2年次 編入 1名
2年次	//		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 1	[ - ] -	[ ] [ ]	[ - ] -	
3年次	//		//		[ - ] -	[ - ] -	[ ] [ ]	[ - ] -	
4年次	//		//		//		[ ] [ ]	[ - ] -	
計	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ 2 ] 38	[ - ] -	[ - ] 32	[ ] [ ]	

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

先端芸術学部 まんが表現学科

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 3 ]	7.4%
	うち平成22年度入学者 4人	うち平成22年度 54人	
	(主な退学理由) ・除籍(学費未納) 2人 ・他の教育機関への入学・転学 1人 ・就職 1人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			
平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			

先端芸術学部 映像表現学科

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 2 ]	3.4%
	うち平成22年度入学者 2人	うち平成22年度 58人	
	(主な退学理由) ・除籍(学費未納) 1人 ・他の教育機関への入学・転学 1人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人		
(主な退学理由)			
平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人		
うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度 人		
(主な退学理由)			

先端芸術学部 クラフト・美術学科

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 0 ]	2.6%
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 38人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 1人			
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			
平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下
  - ・学力不足
  - ・他の教育機関への入学・転学
  - ・海外留学
  - ・就職
  - ・学生個人の心身に関する事情
  - ・家庭の事情
  - ・除籍
  - ・その他

## 2 授業科目の概要

<先端芸術学部 まんが表現学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野科目	教養	情報理論 <del>1・2・3・4後</del>		2								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)	
		認知科学論	1・2・3・4前	2									
		心理学	1・2・3・4後	2									
		アンダーワールド心理学	1・2・3・4後	2									
		健康科学	1・2・3・4前	2									
		人間工学	2・3・4後	2									
		スポーツ実技	1・2・3・4前後 <del>1・2・3・4後</del>	1									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		ダンスワークショップ	1・2・3・4前	1									
		現代思想史	1・2・3・4前	2									
		身体論	1・2・3・4後	2									学科教員異動による担当教員の変更(23)
		西洋美術史	1・2・3・4後	2									
		近代日本美術史	1・2・3・4前	2									学科教員異動による担当教員の変更(23)
		音楽理論	1・2・3・4前	2									
		音楽文化論	1・2・3・4後	4									開講科目の追加(22)
		芸術理論	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>	2									学科教員異動による担当教員の変更(23) カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		デザイン様式史	1・2・3・4前	2									
		文学理論	2・3・4前 <del>1・2・3・4前</del>	2									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		映像理論	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前</del>	4									開講コマ数の充実(23) 開講科目の追加(22)
		映像美学 符号論	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>	2									カリキュラム見直しにかかる名称及び配当年次変更(22)
		文化人類学	2・3・4前 <del>1・2・3・4前</del>	2									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		表現者のための民俗学	1・2・3・4後	2				1					
		初心者のための文学	1・2・3・4後	2				1					開講科目の追加(22)
		法学(日本国憲法を含む)	1・2・3・4前・後	2									
		デザインと著作権	2・3・4後	2									
		社会調査論	2・3・4前 <del>1・2・3・4前</del>	2									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		マーケティング論	2・3・4前	2									
		グレートフィルムズ	1・2・3・4後	2				1					
		色彩論	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>	2									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		流行色彩論	1・2・3・4後	2									
		色彩とデザイン	2・3・4後	2									
		微分と積分	1・2・3・4前	2									
		線形代数	1・2・3・4後	2									
		グラフ理論	1・2・3・4前	2									
		統計学	1・2・3・4後	2									
		アトムと光の科学	1・2・3・4前	2									
		カオスと複雑系	1・2・3・4前	2									
		物理学の楽しみ方	1・2・3・4後	2									
		科学史	1・2・3・4後	2									
		形の科学	1・2・3・4前	2									
		力学とデザイン	1・2・3・4後	2									
デザイン文献学	1・2・3・4前・後	2									カリキュラム見直しにかかる科目区分変更(22)		
スタディスキルズ	1前	1											
キャリアデザインⅠ	1後	2											
キャリアデザインⅡ	2後	2											

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養	インターンシップA	1・2・3・4前・後		1							
	インターンシップB	1・2・3・4前・後		1							
	インターンシップC	1・2・3・4前・後		1							
	インターンシップD	1・2・3・4前・後		1							
基礎分野科目	芸術工学概論	1・2・3・4前		2							
	芸術工学技術史	1・2・3・4後		2							
	芸術工学文化論	1・2・3・4後		2							
	デザイン史	1・2・3・4前		2							
	デザイン論	1・2・3・4前		2							
	現代美術史A 現代美術史	1・2・3・4前		2							カリキュラム見直しにかかる名称変更(23)
	現代美術史B	1・2・3・4後		2							開講科目の追加(23)
	現代美術論	1・2・3・4後		2							
	アートと空間	1・2・3・4後		2							開講科目の追加(23)
	デザイン文献学	<del>1・2・3・4前</del>		2							カリキュラム見直しにかかる科目区分変更(22)
	デザイン基礎演習	1・2・3・4前・後		3							
	デザイン基礎特別演習A	1・2・3・4後		3							
	デザイン基礎特別演習B	1・2・3・4後		3							
	デザイン基礎特別演習C	1・2・3後		3							開講科目の追加(23)
	芸術基礎演習	1・2・3・4前・後		3							
	芸術基礎特別演習A	1・2・3・4後		3							
	芸術基礎特別演習B	1・2・3・4後		3							
	芸術基礎特別演習C	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4後</del>		3							開講コマ数の充実(22)
	芸術基礎特別演習D	1・2・3・4前・後		3							開講科目の追加(22)
	芸術工学特別講義A	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
	芸術工学特別講義B	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
	芸術工学特別講義C	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
	芸術工学特別講義D	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
リテラシー (語学)	日本語文章作成	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前</del>		2							開講コマ数の充実(22)
	総合英語 I 総合英語	1・2・3・4前・後		2							カリキュラム見直しにかかる名称変更(22)
	総合英語 II	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4後</del>		2							開講コマ数の充実(23) 開講科目の追加(22)
	英語演習B 英作文	2・3・4前・後		2							カリキュラム見直しにかかる名称変更(22)
	英語コミュニケーション	2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前・後</del>		2							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
	英語演習A 英語演習	2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前・後</del>		2							カリキュラム見直しにかかる名称及び配当年次変更(22)
	英語演習C	2・3・4前・後		2							開講科目の追加(22)
	フランス語初級 I	1・2・3・4前・後		2							
	フランス語初級 II	1・2・3・4前・後		2							
	フランス語中級 I	1・2・3・4前		2							
	フランス語中級 II	1・2・3・4後		2							
	ハンガール初級 I	1・2・3・4前		2							
	ハンガール初級 II	1・2・3・4後		2							
	ハンガール中級 I	1・2・3・4前		2							
	ハンガール中級 II	1・2・3・4後		2							
	日本語初級 I	1・2・3・4前		2							
	日本語初級 II	1・2・3・4後		2							
	日本語中級 I	1・2・3・4前		2							
	日本語中級 II	1・2・3・4後		2							
	中国語初級 I	1・2・3・4前		2							
中国語初級 II	1・2・3・4後		2								
中国語中級 I	1・2・3・4前		2								
中国語中級 II	1・2・3・4後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野科目 (コンピュータリテラシー)	コンピュータ理論	1・2・3・4前		2								
	コンピュータ演習	1・2・3・4前・後	3									
	コンピュータ特別演習A	1・2・3・4前・後		3								
	コンピュータ特別演習B	1・2・3・4後		3								
	小計 (97科目) 小計 (94科目) 小計 (88科目)	—	5	194 187	0	3 6	0	0	0	0	0	
自由科目	総合プロジェクトA	1・2・3・4前・後			1							
	総合プロジェクトB	1・2・3・4前・後			1							
	総合プロジェクトC	1・2・3・4前・後			1							
	総合プロジェクトD	1・2・3・4前・後			1							
	小計 (4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
学科目 学部共通科目	写真撮影基礎実習	1前		2								
	まんが表現史	1前		2		1						カリキュラム見直しにかかる科目区分変更(22)
	アニメ史	1後		4								カリキュラム見直しにかかる名称及び単位数変更(22)
	まんが・アニメ史概説	1後		2								
	写真現像基礎実習	1後		2								
	絵画・図像史	1後		2		1						学科教員異動による担当教員の変更(23)
	美術文献史	3後		2		1						
	写真史・映画史	2前		2		1						
	工芸概論工芸史	2前		2								
	写真・大判カメラ撮影演習	2後		4								カリキュラム見直しにかかる名称変更(23)
	写真表現演習	2後		4								
	メディア産業プロデュース論	3前		2		1						
	写真技術アドバンス・暗室ワーク演習	3前		4								
写真表現ゼミ	3後		4								カリキュラム見直しにかかる名称変更(23)	
写真技術アドバンス・大判カメラ撮影演習	3後		4									
小計 (12科目) 小計 (11科目)	—	0	32	0	4 6	0	0	0	0	0		
学科目 専門科目	まんがデジタルメディア表現基礎実習	1前	2			1 5	2	1				学科教員採用による変更、カリキュラム見直しにかかる担当教員の変更(22)
	まんが原論	1前	2			1						
	まんが表現基礎	1前	2			1						
	まんが制作基礎	1後		2			1					
	まんが表現史	1後		2		1						カリキュラム見直しにかかる科目区分変更(22)
	コンピュータゲーム(CG)史	1後		2								
	物語基礎演習II	1後		2		1						カリキュラム見直しにかかる名称変更(22)
	物語基礎実習	1後		2		1						
	物語基礎演習I	1前		2		1						開講科目の追加(22)
	まんが・Webアニメ・コミック総合演習	1後		4		2 1						カリキュラム見直しにかかる担当教員の変更(23)
	視覚表現作品鑑賞	1前		2					1			開講科目の追加(22)
	映像編集制作基礎	1後		2					1			開講科目の追加(22)
	音響メディア制作演習I	1前		2					1			開講科目の追加(22)
	音響メディア制作演習II	1後		2					1			開講科目の追加(22)
	表現リテラシー	1後	2			1						開講科目の追加(23)
	キャラクター制作演習	2後		2		1		1				開講科目の追加(23)
	キャラクター制作論	2前		2		1	1	1				カリキュラム見直しにかかる担当教員の変更(23)
	世界観構想論	2前	2									
	まんが・原作脚本演習	2前	4			2 1	2					学科教員採用による変更、カリキュラム見直しにかかる担当教員の変更(23)
	まんが構成論演習	2前		2		1			1			カリキュラム見直しにかかる担当教員の変更(23)
	イメージ編集演習	2前		2		1 2						カリキュラム見直しにかかる担当教員の変更(23)
	資料購読	2前		2		1						
	作画技術演習I	2前		2			1					
	まんが・Webアニメ・コミック演出論	2前		2		1				1		カリキュラム見直しにかかる担当教員の変更(23)
	イメージ創造演習	2後		4		1						
	ストーリーまんが演出論	2後		4		1	2					
	作画技術演習II	2後		4			1	1				カリキュラム見直しにかかる担当教員の変更(23)
Flash制作基礎	2前 2後		2								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(23) 開講科目の追加(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	専任教員等の配置	備考
------	---------	------	-----	----------	----

区分	授業科目名	単位数	履修状況					教員				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 目	webコミック演習 Flash制作演習	3前		4		1				1		カリキュラム見直しにかかる変更(23) 開講科目の追加(22)
	webアニメ・コミック特論	3前		2								開講科目の追加(22)
	まんが・Webアニメ・コミック企画演習	2後		4		1	1					カリキュラム見直しにかかる担当教員の変更(23)
	まんが・アニメーション作品批評論	3前		2		1						
	まんが演出論	2前		2			1					開講科目の追加(22)
	背景設定デザインⅠ	3前 2前		2		1	1					カリキュラム見直しにかかる配当年度変更並びに22 年度履行状況報告時の記載抜け(23) 開講科目の追加(22)
	背景設定デザインⅡ	3後 2後		2		1	1					カリキュラム見直しにかかる配当年度変更並びに22 年度履行状況報告時の記載抜け(23) 開講科目の追加(22)
	空間構成基礎	2後		2						1		開講科目の追加(22)
	まんが制作演習Ⅰ	3前	4			3	2			1		
	キャラクターイラストレーション演習Ⅰ	3前		4			1	1				学科教員採用による変更(22)
	まんが制作演習Ⅱ	3後		4		3	2		1			
	キャラクターイラストレーション演習Ⅱ	3後		4			1	1				学科教員採用による変更(22)
	コミック・メディア制作演習Ⅰ	3前		4								開講科目の追加(22)
	コミック・メディア制作演習Ⅱ	3前 3後		2								カリキュラム見直しにかかる配当年度変更(23) 開講科目の追加(22)
	コミックスタジオ演習	3前		4								開講科目の追加(22)
	まんがが教育学	3後		2		1						開講科目の追加(23)
	人物画Ⅰ	3前		2								開講科目の追加(23)
	人物画Ⅱ	3後		2								開講科目の追加(23)
	小計(44科目) 小計(39科目) 小計(25科目)	-	18	96 90	0	29 18	17	6 4	9	0		
	特 別 科 目	まんが表現フレッシュマンセミナー	1前		1		5	2	1	1		学科教員採用による変更(22)
まんが表現特別講義A		1・2・3・4後 <del>1・2・3・4前</del>		1		5	2	1	1		カリキュラム見直しにかかる配当年度変更(23) 学科教員採用による変更(22)	
まんが表現特別講義B		1・2・3・4後 <del>1・2・3・4前</del>		1		5	2	1	1		カリキュラム見直しにかかる配当年度変更(23) 学科教員採用による変更(22)	
まんが表現特別講義C		1・2・3・4後 <del>1・2・3・4前</del>		1		5	2	1	1		カリキュラム見直しにかかる配当年度変更(23) 学科教員採用による変更(22)	
まんが表現特別講義D		1・2・3・4後 <del>1・2・3・4前</del>		1		5	2	1	1		カリキュラム見直しにかかる配当年度変更(23) 学科教員採用による変更(22)	
卒業研究		4通	10			5	2	1	1		学科教員採用による変更(22)	
小計(6科目)	-	10	5	0	30	12	6	6	0			

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・「配当年度」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 9	科目 121	科目 4	科目 134	科目 10 9 [ 1 ]	科目 149 142 [28 24]	科目 4 [ ]	科目 163 155 [29 24]	上段：23年度修正 下段22年度修正

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	アンダーワールド心理学	2	1	一般	選択	教員都合による。平成24年度より開講予定。

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	Flash制作演習	4	3	専門	選択	カリキュラム見直しにかかる名称変更。授業内容は「webコミック演習」に発展的統合するため、内容の不足は生じない。

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「アンダーワールド心理学」における休講は教員自己都合によるが、次年度は開講すること、同様の科目(心理学)は開講するため問題はない。  
「Flash制作演習」は平成23年度より「webコミック演習」に名称変更し、授業内容の充実を行った。  
なおいずれの科目においても、年度当初にシラバス・時間割等を学生に配布し、オリエンテーション・ガイダンスで周知を行った。

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \begin{matrix} 0.01 \\ 0.00 \end{matrix}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<先端芸術学部 映像表現学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎 分野 科目	教 養	情報理論		2								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)	
		認知科学論		2									
		心理学		2									
		アンダーワールド心理学		2									
		健康科学		2									
		人間工学		2									
		スポーツ実技		1									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		ダンスワークショップ		1									
		現代思想史		2									
		身体論		2									
		西洋美術史		2									
		近代日本美術史		2									
		音楽理論		2									
		音楽文化論		4									開講科目の追加(22)
		芸術理論		2									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		デザイン様式史		2									
		文学理論		2									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		映像理論		4									開講コマ数の充実(23) 開講科目の追加(22)
		映像美学		2									カリキュラム見直しにかかる名称及び配当年次変更(22)
		文化人類学		2									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		表現者のための民俗学		2									
		初心者のための文学		2									開講科目の追加(22)
		法学(日本国憲法を含む)		2									
		デザインと著作権		2									
		社会調査論		2									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		マーケティング論		2									
		グレートフィルムズ		2									
		色彩論		2									カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		流行色彩論		2									
		色彩とデザイン		2									
		微分と積分		2									
		線形代数		2									
		グラフ理論		2									
		統計学		2									
		アトムと光の科学		2									
		カオスと複雑系		2									
		物理学の楽しみ方		2									
		科学史		2									
		形の科学		2									
		力学とデザイン		2									
デザイン文献学		2									カリキュラム見直しにかかる科目区分変更(22)		
スタディスキルズ		1											
キャリアデザインⅠ		2											
キャリアデザインⅡ		2											

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養	インターンシップA	1・2・3・4前・後		1							
	インターンシップB	1・2・3・4前・後		1							
	インターンシップC	1・2・3・4前・後		1							
	インターンシップD	1・2・3・4前・後		1							
基礎分野科目	芸術工学概論	1・2・3・4前		2							
	芸術工学技術史	1・2・3・4後		2							
	芸術工学文化論	1・2・3・4後		2							
	デザイン史	1・2・3・4前		2							
	デザイン論	1・2・3・4前		2							
	現代美術史A 現代美術史	1・2・3・4前		2							カリキュラム見直しにかかる名称変更(23)
	現代美術史B	1・2・3・4後		2							開講科目の追加(23)
	現代美術論	1・2・3・4後		2							
	アートと空間	1・2・3・4後		2							開講科目の追加(23)
	デザイン文献学	<del>1・2・3・4前</del>		2							カリキュラム見直しにかかる科目区分変更(22)
	デザイン基礎演習	1・2・3・4前・後		3							
	デザイン基礎特別演習A	1・2・3・4後		3							
	デザイン基礎特別演習B	1・2・3・4後		3							
	デザイン基礎特別演習C	1・2・3後		3							開講科目の追加(23)
	芸術基礎演習	1・2・3・4前・後		3							
	芸術基礎特別演習A	1・2・3・4後		3							
	芸術基礎特別演習B	1・2・3・4後		3							
	芸術基礎特別演習C	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4後</del>		3							開講コマ数の充実(22)
	芸術基礎特別演習D	1・2・3・4前・後		3							開講科目の追加(22)
	芸術工学特別講義A	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
	芸術工学特別講義B	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
	芸術工学特別講義C	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
	芸術工学特別講義D	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
リテラシー (語学)	日本語文章作成	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前</del>		2							開講コマ数の充実(22)
	総合英語 I 総合英語	1・2・3・4前・後		2							カリキュラム見直しにかかる名称変更(22)
	総合英語 II	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4後</del>		2							開講コマ数の充実(23) 開講科目の追加(22)
	英語演習B 英作文	2・3・4前・後		2							カリキュラム見直しにかかる名称変更(22)
	英語コミュニケーション	2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前・後</del>		2							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
	英語演習A 英語演習	2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前・後</del>		2							カリキュラム見直しにかかる名称及び配当年次変更(22)
	英語演習C	2・3・4前・後		2							開講科目の追加(22)
	フランス語初級 I	1・2・3・4前・後		2							
	フランス語初級 II	1・2・3・4前・後		2							
	フランス語中級 I	1・2・3・4前		2							
	フランス語中級 II	1・2・3・4後		2							
	ハンガール初級 I	1・2・3・4前		2							
	ハンガール初級 II	1・2・3・4後		2							
	ハンガール中級 I	1・2・3・4前		2							
	ハンガール中級 II	1・2・3・4後		2							
	日本語初級 I	1・2・3・4前		2							
	日本語初級 II	1・2・3・4後		2							
	日本語中級 I	1・2・3・4前		2							
	日本語中級 II	1・2・3・4後		2							
	中国語初級 I	1・2・3・4前		2							
中国語初級 II	1・2・3・4後		2								
中国語中級 I	1・2・3・4前		2								
中国語中級 II	1・2・3・4後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野科目 (コンピュータ)	コンピュータ理論	1・2・3・4前		2								
	コンピュータ演習	1・2・3・4前・後	3									
	コンピュータ特別演習A	1・2・3・4前・後		3								
	コンピュータ特別演習B	1・2・3・4後		3								
	小計 (97科目) 小計 (94科目) 小計 (88科目)	-	5	194 187	0	0 6	0	0	0	0	0	
自由科目	総合プロジェクトA	1・2・3・4前・後			1							
	総合プロジェクトB	1・2・3・4前・後			1							
	総合プロジェクトC	1・2・3・4前・後			1							
	総合プロジェクトD	1・2・3・4前・後			1							
	小計 (4科目)	-	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
学科学目 学部共通科目	写真撮影基礎実習	1前		2		1						
	まんが表現史	1前		2								リキョム見直しにかかる科目区分変更 (22)
	アニメ史 まんが・アニメ史概説	1後		4 2								リキョム見直しにかかる名称及び単位数変更 (22)
	写真現像基礎実習	1後		2		1						
	絵画・図像史	1後		2								
	美術文献史	3後		2								
	写真史・映画史	2前		2								
	工芸概論工芸史	2前		2								
	写真・大判カメラ撮影演習 写真表現演習	2後		4		1						リキョム見直しにかかる名称変更
	メディア産業プロデュース論	3前		2								
	写真技術アドバンス・暗室ワーク演習	3前		4		1						
	写真技術アドバンス・大判カメラ撮影演習	3後		4		1						リキョム見直しにかかる名称変更
	小計 (12科目) 小計 (11科目)	-	0	32	0	5	0	0	0	0	0	
学科学目 専攻科目	映画入門	1前		2		1						開講科目の追加 (22)
	3DCG入門	1前		2		1						開講科目の追加 (22)
	映像メディア表現実習	1前	2			5	2					
	アニメーション原論	1前		2		2						リキョム見直しにかかる担当教員の変更 (23)
	アニメーション技術演習	1前		4		1 2						病体による担当教員の変更 (23)
	コンピュータゲーム (CG) 史	1後		2								
	シナリオ基礎演習 I シナリオ基礎演習 シナリオ基礎	1前 1後	2	2 4		1						リキョム見直しにかかる名称変更 (23) リキョム見直しにかかる名称変更と必修科目から選択科目への変更及び教員異動による担当教員変更 (22)
	シナリオ基礎演習 II	1後		2								開講科目の追加 (23)
	光科学概説	1後		2		1						教員異動による担当教員変更 (23)
	映像合成基礎	1前 1後		4			1					リキョム見直しにかかる配当年次変更 学科教員採用による変更 (22)
	立体造形基礎	1後		4			1					開講科目の追加 (23)
	3DCGアニメーション入門	1後		4		1						開講科目の追加 (23)
	映画スタッフワーク演習	1後		2		1						開講科目の追加 (22)
	編集演習	1後		2 4		1						教員異動による担当教員変更 (22)
	アニメーション総合演習	1後		4		1						
	デジタル写真映像演習	2前		4			1					
	3DCGモデリング基礎演習	2前		4		1						
	映像工学演習 映像工学	2前		4 2								リキョム見直しにかかる名称変更及び単位数変更 (22)
	映画監督総論演習	3前2後		4			1					教員異動による担当教員変更および配当年次変更 (22)
	脚本演習	2前		4		1	1					教員異動による担当教員変更 (22)
	フラット・アニメーション基礎演習	2後2前		4		1						教員異動による担当教員変更 (22)
アニメーション演出論	2前		2 4		1						リキョム見直しにかかる単位数変更 (23)	
動画演習	2前		4								開講科目の追加 (23)	
デジタル彫刻基礎	2前		4			1					開講科目の追加 (23)	
映像技術論	2後		2									

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学 科 目	デジタル表現技術演習	2後		4			1						
	CM制作演習	2後		4		↓	1					リキョム見直しにかかる担当教員の変更(23) 学科教員採用による変更(22)	
	3DCGアニメーション基礎演習	2後		4			1						
	作品構成技術演習	2後		4				1				開講科目の追加(22)	
	演出演習	2後		4			1						
	シナリオ創作演習	2後		4								開講科目の追加(22)	
	映画美術演習	2後		4									
	アニメーション基礎演習 <del>アニメーション企画演習</del>	1前2後		4								リキョム見直しにかかる名称変更(23) リキョム見直しにかかる配当年次変更(22)	
	写真作品展示法演習	3前		4				1					
	3DCG合成技術演習	3前		4				1					
	3DCGアニメーション表現演習	3前		4			1						
	撮影演習	3前		4				↓				教員異動による担当教員変更(22)	
	映画創作応用演習	3後		2			1					開講科目の追加(22)	
	アニメーション制作演習Ⅰ	3前		4			2 ↓					教員辞任による担当教員変更(22)	
	アニメーション作品批評論	3前		2			1					教員辞任による担当教員変更(22)	
	写真作品学外演習	3後		4				1					
	総合アニメーション表現演習 <del>総合アニメーション表現演習A</del>	3後		4			1	1				リキョム見直しにかかる名称及び教員追加(22)	
	<del>総合アニメーション表現演習B</del>	2後		4			↓					リキョム見直しにかかる変更。授業内容は「総合アニメーション表現演習」に統合。なおVFX技術等は「映像合成基礎」「編集演習」でも実施するため、科目統合による内容の不足は生じない(22)	
	サウンドデザイン演習	3後		4									
	アニメーション制作演習Ⅱ	3後		4			2						
	映像表現特設ゼミⅠ	3前		4			1					開講科目の追加(22)	
	映像表現特設ゼミⅡ	3後		4			1					開講科目の追加(22)	
	小計(46科目) <del>小計(41科目)</del> <del>小計(34科目)</del>	—		2	154	0	28 ↓	13 ↓	0	0	0		
	特 別 科 目	映像表現フレッシュマンセミナー	1前		1		5	2					
		映像表現特別講義A	1・2・3・4前		1		5	2					
		映像表現特別講義B	1・2・3・4前		1		5	2					
映像表現特別講義C		1・2・3・4前		1		5	2						
映像表現特別講義D		1・2・3・4前		1		5	2						
卒業研究		4通	10			5	2						
小計(6科目)		—	10	5	0	30	12	0	0	0			

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	134	4	143	4	157 149	4	165 157	
				[ Δ1]	[23 15]	[ ]	[22 -14]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	アンダーワールド心理学	2	1	一般	選択	教員都合による。平成24年度より開講予定。

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	総合アニメーション表現演習B	4	3後	専門	選択	カリキュラム見直しにかかる変更。授業内容は「総合アニメーション表現演習」に統合。なおVFX技術等は「映像合成基礎」「編集演習」でも実施するため、科目統合による内容の不足は生じない。

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「アンダーワールド心理学」における休講は教員自己都合によるが、次年度は開講すること、同様の科目(心理学)は開講するため問題はない。なお年度当初にシラバス・時間割等を学生に配布し、オリエンテーション・ガイダンスで周知を行った。(23)。 年度当初にシラバス・時間割等を学生に配布し、オリエンテーション・ガイダンスで周知を行った。なお、開設1年目にあたり、平成22年度入学生は特に支障はない。
---

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\begin{matrix} 0.00 (23) \\ 0.7 (22) \end{matrix}}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<先端芸術学部 クラフト・美術学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野科目	教養	情報理論	<del>2・3・4後</del> 1・2・3・4後		2							カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)	
		認知科学論	1・2・3・4前		2								
		心理学	1・2・3・4後		2								
		アンダーワールド心理学	1・2・3・4後		2								
		健康科学	1・2・3・4前		2								
		人間工学	2・3・4後		2								
		スポーツ実技	<del>1・2・3・4前後</del> 1・2・3・4後		1								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		ダンスワークショップ	1・2・3・4前		1								
		現代思想史	1・2・3・4前		2								
		身体論	1・2・3・4後		2								
		西洋美術史	1・2・3・4後		2								
		近代日本美術史	1・2・3・4前		2								
		音楽理論	1・2・3・4前		2								
		音楽文化論	1・2・3・4後		4								開講科目の追加(22)
		芸術理論	<del>1・2・3・4前</del> 1・2・3・4後		2								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		デザイン様式史	1・2・3・4前		2								
		文学理論	<del>2・3・4前</del> 1・2・3・4前		2								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		映像理論	<del>1・2・3・4前・後</del> 1・2・3・4前		4								開講コマ数の充実(23) 開講科目の追加(22)
		映像美学	1・2・3・4前		2								カリキュラム見直しにかかる名称及び配当年次変更(22)
		符号論	<del>1・2・3・4後</del>										
		文化人類学	2・3・4前		2								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		表現者のための民俗学	1・2・3・4後		2								
		初心者のための文学	1・2・3・4後		2								開講科目の追加(22)
		法学(日本国憲法を含む)	1・2・3・4前・後		2								
		デザインと著作権	2・3・4後		2								
		社会調査論	<del>2・3・4前</del> 1・2・3・4前		2								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		マーケティング論	2・3・4前		2								
		グレートフィルムズ	1・2・3・4後		2								
		色彩論	<del>1・2・3・4前</del> 1・2・3・4後		2								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		流行色彩論	1・2・3・4後		2								
		色彩とデザイン	2・3・4後		2								
		微分と積分	1・2・3・4前		2								
		線形代数	1・2・3・4後		2								
		グラフ理論	1・2・3・4前		2								
		統計学	1・2・3・4後		2								
		アトムと光の科学	1・2・3・4前		2								
		カオスと複雑系	1・2・3・4前		2								
		物理学の楽しみ方	1・2・3・4後		2								
		科学史	1・2・3・4後		2								
		形の科学	1・2・3・4前		2								
力学とデザイン	1・2・3・4後		2										
デザイン文献学	1・2・3・4前・後		2								カリキュラム見直しにかかる科目区分変更(22)		
スタディスキルズ	1前		1										
キャリアデザインⅠ	1後		2										
キャリアデザインⅡ	2後		2										

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野科目	教養												
	インターンシップA	1・2・3・4前・後		1									
	インターンシップB	1・2・3・4前・後		1									
	インターンシップC	1・2・3・4前・後		1									
	インターンシップD	1・2・3・4前・後		1									
	芸術工学基礎	芸術工学概論	1・2・3・4前		2								
		芸術工学技術史	1・2・3・4後		2								
		芸術工学文化論	1・2・3・4後		2								
		デザイン史	1・2・3・4前		2								
		デザイン論	1・2・3・4前		2								
		現代美術史A 現代美術史	1・2・3・4前		2								カリキュラム見直しにかかる名称変更(23)
		現代美術史B	1・2・3・4後		2								開講科目の追加(23)
		現代美術論	1・2・3・4後		2								
		アートと空間	1・2・3・4後		2								開講科目の追加(23)
		デザイン文献学	<del>1・2・3・4前</del>		2								カリキュラム見直しにかかる科目区分変更(22)
		デザイン基礎演習	1・2・3・4前・後		3								
		デザイン基礎特別演習A	1・2・3・4後		3								
		デザイン基礎特別演習B	1・2・3・4後		3								
		デザイン基礎特別演習C	1・2・3後		3								開講科目の追加(23)
		芸術基礎演習	1・2・3・4前・後		3								
		芸術基礎特別演習A	1・2・3・4後		3								
		芸術基礎特別演習B	1・2・3・4後		3								
		芸術基礎特別演習C	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4後</del>		3								開講コマ数の充実(22)
		芸術基礎特別演習D	1・2・3・4前・後		3								開講科目の追加(22)
		芸術工学特別講義A	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
	芸術工学特別講義B	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)	
	芸術工学特別講義C	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)	
	芸術工学特別講義D	1・2・3・4前 <del>1・2・3・4後</del>		1								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)	
	リテラシー(語学)	日本語文章作成	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前</del>		2								開講コマ数の充実(22)
		総合英語 I 総合英語	1・2・3・4前・後		2								カリキュラム見直しにかかる名称変更(22)
		総合英語 II	1・2・3・4前・後 <del>1・2・3・4後</del>		2								開講コマ数の充実(23) 開講科目の追加(22)
		英語演習B 英作文	2・3・4前・後		2								カリキュラム見直しにかかる名称変更(22)
		英語コミュニケーション	2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前・後</del>		2								カリキュラム見直しにかかる配当年次変更(22)
		英語演習A 英語演習	2・3・4前・後 <del>1・2・3・4前・後</del>		2								カリキュラム見直しにかかる名称及び配当年次変更(22)
		英語演習C	2・3・4前・後		2								開講科目の追加(22)
		フランス語初級 I	1・2・3・4前・後		2								
フランス語初級 II		1・2・3・4前・後		2									
フランス語中級 I		1・2・3・4前		2									
フランス語中級 II		1・2・3・4後		2									
ハンガール初級 I		1・2・3・4前		2									
ハンガール初級 II		1・2・3・4後		2									
ハンガール中級 I		1・2・3・4前		2									
ハンガール中級 II		1・2・3・4後		2									
日本語初級 I		1・2・3・4前		2									
日本語初級 II		1・2・3・4後		2									
日本語中級 I		1・2・3・4前		2									
日本語中級 II		1・2・3・4後		2									
中国語初級 I		1・2・3・4前		2									
中国語初級 II	1・2・3・4後		2										
中国語中級 I	1・2・3・4前		2										
中国語中級 II	1・2・3・4後		2										

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎 分野 科目  (コン ピュー ター リテ ラシー)	コンピュータ理論	1・2・3・4前		2									
	コンピュータ演習	1・2・3・4前・後		3									
	コンピュータ特別演習A	1・2・3・4前・後		3									
	コンピュータ特別演習B	1・2・3・4後		3									
	小計(97科目) 小計(94科目) 小計(88科目)	—	0 5	199 187	0	0	0	0	0	0			
自由 科目	総合プロジェクトA	1・2・3・4前・後			1								
	総合プロジェクトB	1・2・3・4前・後			1								
	総合プロジェクトC	1・2・3・4前・後			1								
	総合プロジェクトD	1・2・3・4前・後			1								
	小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0			
学部 共通 科目	写真撮影基礎実習	1前		2									
	まんが表現史	1前		2								カメラ見直しにかかる科目区分変更(22)	
	アニメ史 まんが・アニメ史概説	1後		4 2								カメラ見直しにかかる名称及び単位数変更(22)	
	写真現像基礎実習	1後		2									
	絵画・図像史	1後		2									
	美術文献史	3後		2									
	写真史・映画史	2前		2									
	工芸概論工芸史	2前		2		2	2						
	写真・大判カメラ撮影演習 写真表現演習	2後		4								カメラ見直しにかかる名称変更(23)	
	メディア産業プロデュース論	3前		2									
	写真技術アドバンス・暗室ワーク演習	3前		4									
	写真技術アドバンス・大判カメラ撮影演習	3後		4								カメラ見直しにかかる名称変更(23)	
	小計(12科目) 小計(11科目)	—	0	32	0	2	2	0	0	0			
	学 科 目	色彩基礎	1前	2					1				
		クラフト美術基礎A	1前	2			3 2	2 3					教員昇格による変更(22)
クラフト美術基礎B		1前	2			1		1					
クラフト美術概論		1前	2			4	2 3	1				教員辞任及び昇格による変更(22)	
作品の見方		1後		2				1					
イメージ表現技法		1後		2		1							
素材と加工法		1後		2		2 1	2 3					教員昇格による変更(22)	
絵画基礎		1後		2				1					
彫刻基礎		1後		2		1							
ドローイング		2前		4				1					
工芸材料論		2前		2		2 1	2 3					教員昇格による変更(22)	
複合素材演習		2前		2 4		2 1	2 3					届出時の記載誤り(23) 教員昇格による変更(22)	
彫刻技法		2前		2 4		1							
油彩画技法		2前		2									
フィギュア技法		2前		2									
美術技法論		2後		2		2		1					
袖巻技法演習		2後		4		1							
吹きガラス演習		2後		4									
陶表現演習		2後		4									
ジュエリー&メタル技法		2後		2			1						
ガラス技法	2後		2		1	1					教員昇格による変更(22)		
陶芸技法	2後		2		1								
木工・家具・玩具技法	2後		2			1							
版画技法	2後		4										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 目	彫刻・フィギュア技法	2後		2								
	水彩画・アクリル画技法	2後		2								
	玩具演習	3前		4								
	金工演習	3前		4								
	ジュエリー&メタル演習Ⅰ	3前		4			1					
	七宝演習Ⅰ	3前		4								
	ガラス演習Ⅰ	3前		4		1	±					教員昇格による変更(22)
	陶芸演習Ⅰ	3前		4		1						
	木工・家具・玩具演習Ⅰ	3前		4			1					
	美術演習Ⅰ	3前		4		1						
	絵画演習Ⅰ	3前		4				1				
	彫刻・フィギュア演習Ⅰ	3前		4		1						
	メディア表現技法	3後		4								
	ジュエリー&メタル演習Ⅱ	3後		6			1					
	七宝演習Ⅱ	3後		6								
	ガラス演習Ⅱ	3後		6		1	±					教員昇格による変更(22)
	陶芸演習Ⅱ	3後		6		1						
	木工・家具・玩具演習Ⅱ	3後		6			1					
	美術演習Ⅱ	3後		4		1						
	アートワークショップ演習	3後		4					1			
絵画演習Ⅱ	3後		6					1				
彫刻・フィギュア演習Ⅱ	3後		6		1							
クラフト自由課題	4前		4		2 ±	2 ±					教員昇格による変更(22)	
美術特別演習A	4前		2		1							
美術特別演習B	4前		2		1							
小計(49科目)	—		8	156 <del>158</del>	0	34	18 <del>19</del>	10	0	0		
特 別 科 目	クラフト美術フレッシュマンセミナー	1前		1		4	2 ±	1				教員辞任及び昇格による変更(22)
	クラフト美術特別講義A	1・2・3・4前		1		4	2 ±	1				教員辞任及び昇格による変更(22)
	クラフト美術特別講義B	1・2・3・4前		1		4	2 ±	1				教員辞任及び昇格による変更(22)
	クラフト美術特別講義C	1・2・3・4前		1		4	2 ±	1				教員辞任及び昇格による変更(22)
	クラフト美術特別講義D	1・2・3・4前		1		4	2 ±	1				教員辞任及び昇格による変更(22)
	クラフト美術学外演習	3前 ±冊		2		4	2 ±	1				教員辞任及び昇格による変更。別キョウ見直しにかかる配当年次の変更(22)
	卒業研究	4通	10			4	2 ±	1				教員辞任及び昇格による変更(22)
	小計(7科目)	—		10	7	0	28	14	7	0	0	

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	150	4	159	5	160 157	4	169 166	
				[ ]	[10 7]	[ ]	[10 7]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	アンダーワールド心理学	2	1	一般	選択	教員都合による。平成24年度より開講予定。

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	「該当なし」					

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「アンダーワールド心理学」における休講は教員自己都合によるが、次年度は開講すること、同様の科目(心理学)は開講するため問題はない。なお年度当初にシラバス・時間割等を学生に配布し、オリエンテーション・ガイダンスで周知を行った。(23)。</p>
--

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)			
	校 舎 敷 地	101,752㎡	0㎡	0㎡	101,752㎡				
	運 動 場 用 地	10,250㎡	0㎡	0㎡	10,250㎡				
	小 計	112,002㎡	0㎡	0㎡	112,002㎡				
	そ の 他	2,137㎡	0㎡	0㎡	2,137㎡				
	合 計	114,139㎡	0㎡	0㎡	114,139㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
		( 31,922㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 31,922㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体で教室等の運用 方法(用途・目的)の見 直しを行った為(22) 大学全体で教室等の運用 方法(用途・目的)の見 直しを行った為(23)			
	20 48 49室	34 35 28室	59 60 69室	10 41室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		専任教員の採用および学 内異動の為(22) 平成23年4月専任教授1名 を新規採用のため(23)			
		まんが表現学科、映像表現学科、クラフト・美術学科		27 26 22 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書館蔵書管理システム の変更により図書の分 類・算出方法が変わった 為。実冊数に変更はない (22) 機械・器具の新規購入及 び教室等の運用方法見直 しに伴い、廃棄処理を行 った為(22) 機械・器具の新規購入を 行った為(23) 図書の新規購入及び不要 図書の廃棄処理を行った 為(23)	
	まんが表現学科	3,469 [180] 3,205 [167] 3,207 [156] (3,052 [159]) (2,693 [139]) (2,695 [132])	10 [3] 8 [3] (10 [3]) (8 [3])	0 [0] (0 [0])	28 17 (25) (24) (17)	665 603 625 665 603 (625)	24 (24)		
	映像表現学科	6,130 [1,322] 6,192 [1,353] 5,576 [1,083] (5,395 [1,163]) (5,200 [1,137]) (4,684 [911])	37 [10] 36 [10] 35 [10] (37 [10]) (36 [10]) (35 [10])	0 [0] (0 [0])	6,858 6,884 5,848 (6,036) (5,784) (4,912)	665 603 625 665 603 (625)	24 (24)		
	クラフト・美術学科	6,800 [1,051] 6,423 [900] 7,233 [1,050] (5,984 [925]) (5,395 [756]) (6,077 [882])	9 [1] (9 [1])	0 [0] (0 [0])	296 310 326 (260) (262) (274)	592 536 555 592 536 (555)	20 21 (20) (21)		
	計	16,399 [2,553] 15,820 [2,420] 15,836 [2,289] (14,431 [2,247]) (13,288)	56 [14] 53 [14] 52 [14] (56 [14]) (53 [14]) (52 [14])	0 [0] (0 [0])	7,182 7,222 6,191 (6,321) (6,070) (5,203)	1,922 1,742 1,805 1,922 1,742 (1,805)	68 69 (68) (69)		
	(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		書架を増設(23)		
		2,030㎡	200席	127,239 126,250冊					
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		1,811㎡	テ ニ ス コ ー ト 3 面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教育研究環境の整備を重 点的に行った為(22) 共同研究の充実のため研 究費を増額(23) 学生数の増加に伴いコン ピューラームの設置など設備 購入を重点的に行ったた め(23)
		教員1人当り研究費等	540千円	540千円	図書購入費	12,193 12,172 14,300千円	9,086 13,760 14,600千円	13,810 15,500千円	
		共同研究費等	24,500 20,500千円	29,000 24,500 20,500千円	設備購入費	95,823 88,776 40,430千円	113,249 81,770 41,320千円	55,370 46,100 42,126千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
			1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料、補助金、運用財産により得る収入等をもって充当する。						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	神戸芸術工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
先端芸術学部		130		520		0.94 0.91			
まんが表現学科	4	45	—	90 45	学士 (芸術工学)	1.22 1.20	平成22年度		平成22年度開設
映像表現学科	4	45	—	90 45	学士 (芸術工学)	1.22 1.28	平成22年度		平成22年度開設
クラフト・美術学科	4	40	—	80 40	学士 (芸術工学)	0.86 0.92	平成22年度		平成22年度開設
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (芸術工学)	—	平成18年度		平成22年より学生募集停止
造形表現学科	4	—	—	—	学士 (芸術工学)	—	平成18年度	兵庫県神戸市西区 学園西町8丁目1番地1	平成22年より学生募集停止
デザイン学部		270		1,080		1.03 1.06			
環境・建築デザイン学科	4	70	—	280	学士 (芸術工学)	0.88 0.93	平成元年度		
プロダクトデザイン学科	4	70	—	280 300	学士 (芸術工学)	0.83 0.91	平成14年度		平成20年度定員変更 (80人→70人)
ファッションデザイン学科	4	50	—	200	学士 (芸術工学)	1.16 1.18	平成14年度		
ビジュアルデザイン学科	4	80	—	320 300	学士 (芸術工学)	1.28 1.26	平成元年度		平成20年度定員変更 (70人→80人)
大学の名称	大阪商業大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経済学部		380		1,520		1.20 1.23			
経済学科	4	380	—	1,520	学士 (経済学)	1.20 1.23	平成12年度		
総合経営学部		620		2,480		1.26 1.27			
経営学科	4	320	—	1,280	学士 (経営学)	1.27 1.29	平成12年度	大阪府東大阪市御 厨栄町4丁目1番10号	
商学科	4	150	—	600	学士 (商学)	1.34 1.33	平成12年度		
公共経営学科	4	150	—	600	学士 (経営学)	1.17 1.19	平成17年度		

大学 の 名 称	大阪女子短期大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
生活科学科	年	人	年次 人	人		0.80 <del>0.81</del> 倍			
ライフプロデュース専攻	2	40	—	80	短期大学士 (生活科学)	0.61 <del>0.68</del>	昭和43年度		
食物栄養専攻	2	100	—	200	短期大学士 (生活科学)	0.88 <del>0.90</del>	昭和43年度	大阪府藤井寺市春 日丘3丁目8番1号	
人間健康学科	2	100	—	200	短期大学士 (保健)	0.98 <del>0.83</del>	昭和33年度		
幼児教育科	2	100	—	200	短期大学士 (幼児教育)	0.74 <del>0.64</del>	昭和50年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	大阪商業大学の総合経営学部 商学科の入学定員超過の是正 に努めること。	<p>大学入学者選抜にあたり、選抜方法の多様化や評価方法の多元化、受験機会の拡大を進め、入学志願者が自分の能力を十分に発揮できるような入試制度の導入を図ってきた。</p> <p>近年、進学率の上昇などに起因し、合格者に占める入学者の割合を推測することが困難となってきた。平成23年度入試では、特に指定校推薦入学試験における商学科の志願者は、例年の実績から推測した予想を大幅に上回る増加となった。その結果、入学者は次の通りであった。</p> <p>入学定員 (A) 150名 入学者数 (B) 平成23年度：204名 平成22年度：194名 平成21年度：216名 割合 (B/A) 平成23年度：1.36 平成22年度：1.29 平成21年度：1.44</p>	指定校推薦入学試験における指定校数及び指定人数枠を調整するとともに、スポーツ推薦入学試験における志望学科の順位を設定させるなど、特定の学科に志願者が偏らないように入学試験制度の運用に関する改善を行う。これらの見直しにより、入学者数が適正数となるように鋭意努力する。
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	大阪女子短期大学幼児教育科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること。	<p>大学入学者選抜においては、受験機会の拡大、評価方法の多元化など、受験生個々の能力が発揮できるよう様々な入学者選抜を行っている。</p> <p>また、学納金減免制度、建学の理念に基づく学内奨学金制度、さらに下宿対象者への経済支援策である住宅補助制度の創設など、学修機会の保障と入学意欲向上に繋がる制度を入試制度とともに改変した。</p> <p>これに伴い、平成23年度入学者については80名と前年比115.9%、定員充足率0.80倍へと向上した。</p> <p>平成21年度以降の入学状況及び在学状況は以下の通り。</p> <p>入学定員 (A) 100名 入学者数 (B) 平成23年度：80名 平成22年度：69名 平成21年度：60名 割合 (B/A) 平成23年度：0.80 平成22年度：0.69 平成21年度：0.60</p>	平成24年度に向け、教育システムの改善（学修の質保障と学習効果向上に繋がるシステムへの移行）、新教育課程の周知により定員充足率1.0倍を目差す。

(注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。

- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<先端芸術学部 まんが表現学科>

<先端芸術学部 映像表現学科>

<先端芸術学部 クラフト・美術学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○卒業要件</p> <p>まんが表現学科</p> <p>○計画時の卒業要件（専門科目のみ）</p> <p>必修：16単位 選択必修：2単位 選択：42単位</p> <p>○選択必修条件</p> <p>※「まんが構成論演習」「イメージ編集演習」「作画技術演習Ⅰ」いずれか1科目選択必修。</p> <p>映像表現学科</p> <p>○計画時の卒業要件（専門科目のみ）</p> <p>必修：4単位 選択必修：8単位 選択：48単位</p> <p>○選択必修条件</p> <p>※「コンピュータゲーム（CG）史」「編集演習」「アニメーション原論」いずれか1科目選択必修。          ※「3DCGモデリング基礎演習」「映像工学」「フラット・アニメーション基礎演習」いずれか1科目選択必修。          ※「総合アニメーション表現演習A」「総合アニメーション表現演習B」「撮影演習」「アニメーション制作演習Ⅰ」いずれか1科目選択必修。</p>	<p>3分野（ストーリーまんが、webコミック、キャラクターイラストレーション）の充実を図るため、カリキュラム見直しを行った結果、選択必修科目を増加（発展科目の指定）させることで、より分野の専門性を身につけやすいように変更することとなった。</p> <p>○開設時の卒業要件（専門科目のみ）</p> <p>必修：16単位 選択必修：6単位 選択：38単位</p> <p>○選択必修条件</p> <p>※「まんが構成論演習」「作画技術演習Ⅰ」「イメージ編集演習」のいずれか1科目選択必修。          ※「ストーリーまんが演出論」「作画技術演習Ⅱ」「イメージ創造演習」のいずれか1科目選択必修。</p> <p>平成23年度入学生より</p> <p>3分野（ストーリーまんが、webコミック、キャラクターイラストレーション）の充実を図るため、カリキュラム見直し（科目追加）を行った結果、必修科目の単位数を増やすこととなった。選択必修条件に変更はない。</p> <p>○開設時の卒業要件（専門科目のみ）</p> <p>必修：18単位 選択必修：6単位 選択：36単位</p> <p>3分野（映画、アニメ、CG）それぞれの専門技術の発達や多様化に即するため、専門性を明確化、深化させるためカリキュラム見直しを行った結果、3分野共通の必修科目を見直し、選択必修科目を増加（基礎と発展科目を指定）させることで、より分野の専門性を身につけやすいように変更することとなった。映像系の基礎は、基礎分野区分に新設された映像系の科目も合わせると十分に補える体制である。</p> <p>○開設時の卒業要件（専門科目のみ）</p> <p>必修：2単位 選択必修：10単位 選択：48単位</p> <p>○選択必修条件</p> <p>※映画コース選択者は、「映画スタッフワーク演習」「演出演習」「撮影演習」の3科目選択必修。          ※アニメコース選択者は、「アニメーション演出論」「フラット・アニメーション基礎演習」「アニメーション制作演習Ⅰ」の3科目選択必修。          ※CGコース選択者は、「コンピュータゲーム（CG）史」「3DCGモデリング基礎演習」「総合アニメーション表現演習」の3科目選択必修。</p> <p>平成23年度入学生より</p> <p>3分野（映画、アニメ、CG）に、映画コースから派生した写真分野への興味関心を追求できるような体制を整え、より各分野の専門性を身につけやすいように変更することとなり、選択必修科目の取り扱いを変更した。</p> <p>○開設時の卒業要件（専門科目のみ）</p> <p>必修：2単位 選択必修：10単位 選択：48単位</p> <p>○選択必修条件</p> <p>※「映画スタッフワーク演習」「写真現像基礎実習」「アニメーション基礎演習」「3DCG入門」のいずれか1科目選択必修。          ※「演出演習」「写真・大判カメラ撮影演習」「アニメーション演出論」「3DCGモデリング基礎演習」のいずれか1科目選択必修。          ※「撮影演習」「写真技術アドバンス・暗室ワーク演習」「アニメーション制作演習Ⅱ」「総合アニメーション表現演習」のいずれか1科目選択必修。</p>

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>クラフト・美術学科</p> <p>○計画時の卒業要件（専門科目のみ） 必修：8単位 選択必修：12単位 選択：40単位</p> <p>○教員組織</p> <p>まんが表現学科</p> <p>○計画時の教員組織 専任教員8名（教授：5名 准教授：2名 助教：1名）</p>	<p>申請時の記載ミスによる。選択必修科目の条件単位を集計すると、18単位となり、教育方法等に変更はない。</p> <p>○開設時の卒業要件（専門科目のみ） 必修：8単位 選択必修：18単位 選択：34単位</p> <p>カリキュラム見直しにおいて、特にキャラクターイラストレーション教育の充実を図るため、ビジュアルデザイン学科から1名（講師）異動となり、9名で構成することとした。</p> <p>○開設時の教員組織 専任教員9名（教授：5名 准教授：2名 講師：1名 助教：1名）</p> <p>平成23年度 カリキュラム見直しにおいて、より設置科目を担当する専門性の高い教員を新規採用し、2名の教員の担当学科を変更することとなった。</p> <p>○23年度の教員組織 専任教員8名（教授：4名 准教授：2名 講師：1名 助教：1名）</p>
<p>映像表現学科</p> <p>○計画時の教員組織 専任教員7名（教授：5名 准教授：2名）</p>	<p>1名（教授）が自己都合による就任辞退（非常勤講師に変更）、1名（准教授）が基礎分野科目教育充実のため学内異動となったが、後任に1名（教授）、1名（准教授）を採用した。</p> <p>○開設時の教員組織 専任教員7名（教授：5名 准教授：2名）</p> <p>平成23年度 映像における光分野を専門とする教員1名（教授）を学内異動させた。また1名（教授）が病気休暇（前期）を取得することとなったため、非常勤講師を採用した。</p> <p>○23年度の教員組織 専任教員8名（教授：6名 准教授：2名）</p>
<p>クラフト・美術学科</p> <p>○計画時の教員組織 専任教員8名（教授：4名 准教授：3名 講師：1名）</p>	<p>1名（教授）が自己都合による就任辞退となったが、担当予定科目の1科目を他の教員の担当とし、その他の担当科目は複数教員で担当するため、授業実施に支障はない。また申請時は准教授であった教員が、教員資格審査において昇格が承認され教授に変更となった。</p> <p>○開設時の教員組織 専任教員7名（教授：4名 准教授：2名 講師：1名）</p>

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

教務委員会

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教務委員会は原則毎月定例で開催している。  
教務委員は学長が委嘱した各学科の専任教員および事務局職員で構成している。

#### c 委員会の審議事項等

教務委員会において、次の事項について審議を行っている。  
また、同委員会において、全学のFD活動について企画・運営を行っている。

- ・ 教育課程に関する事項
- ・ 履修方法に関する事項
- ・ 単位認定に関する事項
- ・ 成績評価に関する事項
- ・ 教職課程に関する事項
- ・ 博物館学芸員課程に関する事項
- ・ 教育用情報設備に関する事項
- ・ 教育・研究用情報ネットワーク利用に関する事項
- ・ ファカルティ・ディベロップメントに関する事項
- ・ その他教務に関して必要な事項

### ② 実施状況

#### a 実施内容

- ・ FD研究会として、授業方法、外部講師を招いての教授法や入学前・初年時教育等の勉強を行っている。
- ・ 授業評価アンケートを前期・後期ごとに実施している。
- ・ 教員の授業参観を認めている。
- ・ **新規採用教員（助手含む）へ本学のカリキュラムの仕組み、近年の高等教育界（文科省、中審答、大学評価機構）の動向などの説明や、優れた教育活動を実践している機関やその取り組み内容の紹介を行っている。**

#### b 実施方法

FD研修会は、主に教授会終了後、全教員を対象として実施している。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会は、大学全体として年2、3回の実施を行っている。教務委員を中心として教職員が参加している。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研究会において、取り上げたテーマに基づき、それぞれの学科の取り組みなどの意見交換を行ない、それらを参考にして、自学科の授業内容・方法の改善につなげている。  
また、授業アンケートについては、それぞれの授業結果を担当教員にフィードバックし、その結果に基づく教員のコメントを公表するとともに、授業改善につなげている。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設年度にあたり、現時点では自己点検・評価は行なっていない。(22年度)

先端芸術学部は、平成18(2006)年にメディア表現学科及び造形表現学科として開設し、平成22(2010)年より、まんが表現学科、映像表現学科、クラフト・美術学科に再構成を行った。

平成22(2010)年度入学試験において、本学の特色・取り組み・教育内容等を明確に打ち出した広報活動を展開したことにより、まんが表現学科、映像表現学科においては定員を上回る入学者数を確保することができた。クラフト・美術学科においては定員に若干満たなかったが、今後の確に動向を把握し対策を講じていく。また、学生募集においては、アドミッションポリシーを理解しやすいものとし、今後も刊行冊子やホームページ等に記載している。

また教育課程を適切に運営するために、大学設置基準に基づく必要専任教員数を十分満たす専任教員を、配置各学科の収容定員に応じて適切に配置している。

なお、平成22(2010)年度に入学者数が定員を上回ったまんが表現学科、映像表現学科、については適切な施設・設備の整備を行った。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

- ・平成23年3月31日 公表(予定)(22年度)
- ・平成23年4月20日 公表

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表(予定)(22年度)
- ・大学ホームページ上に公表

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関である日本高等教育評価機構の評価を受審する。(22年度)
- ・平成22年度に評価機関である日本高等教育評価機構の評価を受審した。平成23年3月25日付で、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしていると認定された。

(注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 2011年 7月 1日予定 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス (http://www. )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。